

令和6年度

越谷市公共下水道事業経営戦略

モニタリング結果

目次

○ 投資計画についてのモニタリング	1
◆ 各計画の進捗状況について	1
・ スtockマネジメント計画に基づく事業実施状況	1
・ 総合地震対策計画に基づく事業実施状況	4
・ 耐水化計画に基づく事業実施状況	5
・ その他実施事業の状況(浸水対策事業)	5
○ 財政計画についてのモニタリング	6
◆ 収益的収支について	6
◆ 資本的収支について	7
◆ 繰入金について	7
◆ 経営指標について	8
○ 総括	8

投資目標

将来にわたり安定的に下水道の機能を維持するため、老朽化した施設の改築・更新を計画的に進める。
また、老朽化によるリスクだけではなく、自然災害によるリスクについても地震対策、浸水対策として計画的に実施する。

○投資計画についてのモニタリング

◆各計画の進捗状況について

・ストックマネジメント計画に基づく事業実施状況

【管路施設】計画と進捗状況（令和6年度末時点）

『計画』

計画期間：令和6年度～令和10年度

計画期間：令和0年度～令和10年度

処理区・排水区の名称	種類	対象施設	布設年度	対象延長及び枚数		実施延長及び枚数		進捗率
越谷第2処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	1枚	224枚	0枚	42枚	18.8%
越谷第3-1処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	2枚		0枚		
越谷第4処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	26枚		0枚		
越谷第7-1処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	44枚		0枚		
越谷第7-3処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	106枚		42枚		
越谷第8処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	29枚		0枚		
越谷第9処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	14枚		0枚		
越谷第10処理分区	汚水	マンホール蓋交換	－	2枚		0枚		
越谷第5処理分区	汚水	管渠	1970	44.80m		0m		0.0%
越谷第7-1処理分区	汚水	管渠	1987 ～1988	137.84m		0m		0.0%
越谷第8処理分区	汚水	管渠	1987	209.57m		144.59m		69.0%

※平成31年度から令和5年度の進捗状況に関しては、令和5年度モニタリング結果に掲載しています。

管路施設の進捗状況

- ・令和6年度より第2期目の実施計画に基づき事業を実施しています。
- ・マンホール蓋交換については、令和6年度は42枚の交換を実施しました。
- ・管渠については、令和6年度は144.59mの管更生を実施しました。

【ポンプ場施設】計画と進捗状況（令和6年度末時点）

『計画』

計画期間：令和6年度～令和10年度

処理区・排水区の名称	種類	対象施設	設置年度	施設能力	実施設計	施工年度	施工済
東越谷第一ポンプ場	汚水	監視制御設備	1988	23.0	令和7年度	令和7年度～令和8年度	
		受変電設備	1988		令和6年度	令和7年度～令和8年度	
鷺高ポンプ場	汚水	受変電設備	1988	45.0	令和7年度	令和8年度～令和9年度	
		監視制御設備	1988		令和6年度	令和7年度～令和9年度	
		スクリーンかす設備	1988		令和6年度	令和7年度～令和8年度	
		負荷設備	1988		令和6年度	令和7年度～令和8年度	
大沢ポンプ場	汚水	監視制御設備	1983	2.5	令和7年度	令和8年度～令和9年度	
間久里ポンプ場	汚水	自家発電設備	1991	9.0	令和7年度	令和9年度～令和10年度	
		監視制御設備	1991				
		負荷設備	1997				
越谷第一ポンプ場	雨水	監視制御設備	1990	288.4	令和7年度	令和8年度～令和10年度	
		制御電源及び計装用電源設備	2005			令和10年度	
出羽堀ポンプ場	雨水	自家発電設備	1991	492.0	令和9年度	令和10年度	
		負荷設備	1991				
		監視制御設備	1991			-	
		計測設備	1991				
		受変電設備	1991				
新川ポンプ場	雨水	制御電源及び計装用電源設備	2015	180.0	令和6年度	令和8年度	
		監視制御設備	1991			令和7年度～令和8年度	
千間台第一ポンプ場（雨水）	雨水	自家発電設備	1996	144.0	令和9年度	令和10年度	
		監視制御設備	1996				
外野合ポンプ場	雨水	制御電源及び計装用電源設備	1997	42.0	令和7年度	令和8年度～令和9年度	
		監視制御設備	1997			令和8年度～令和10年度	
上間久里ポンプ場	雨水	自家発電設備	1998	87.0	令和7年度	令和8年度～令和10年度	
		監視制御設備	1998				
塚田ポンプ場	雨水	監視制御設備	2000	72.0	令和7年度	令和8年度～令和10年度	

東町ポンプ場	雨水	自家発電設備	2008	187.8	令和7年度	令和8年度 ～ 令和9年度	
--------	----	--------	------	-------	-------	---------------------	--

 : 第2期計画で実施済み

※平成31年度から令和5年度の進捗状況に関しては、令和5年度モニタリング結果に掲載しています。

※東越谷第一ポンプ場の監視制御設備の実施設計については、令和7年度の予定でしたが、令和6年度に行いました。

ポンプ場施設の進捗状況

- ・令和6年度より第2期目の実施計画に基づき事業を実施しています。
- ・汚水ポンプ場及び、雨水ポンプ場については、令和6年度の施工実績はありません。

・総合地震対策計画に基づく事業実施計画

【管渠】進捗状況（令和6年度末時点）

『計画』

計画期間：令和5年度～令和9年度

処理区・排水区の名称	種類	事業内容	布設年度	対象延長等	実施延長及び枚数	進捗率
越谷第7-1処理分区	汚水	管更生	1989	190.25 m	0 m	0.0%
越谷第7-1処理分区	汚水	可とう継手設置	1989	4 箇所	0 箇所	0.0%
-	汚水	マンホール浮上防止	-	127基	50基	39.4%

※平成 30 年度から令和 4 年度の進捗状況に関しては、令和 4 年度モニタリング結果に掲載しています。

管渠施設の進捗状況

- ・令和 5 年度より第 3 期目の実施計画に基づき事業を実施しています。
- ・管路施設については、令和 6 年度の施工実績はありません。
- ・マンホールについては、令和 6 年度は 10 基に浮上防止対策を行いました。

【ポンプ場施設】進捗状況（令和6年度末時点）

『計画』

計画期間：令和5年度～令和9年度

処理区・排水区の名称	種類	事業内容	設置年度	施設能力	耐震診断	補強設計	耐震化工事	施工済
東越谷第二ポンプ場	汚水	補強設計、耐震化工事	1978	5.00 m3/min	平成31年度	令和5年度	令和6年度	
千間台第二ポンプ場	汚水	補強設計	1972	2.00 m3/min	平成31年度	令和5年度	-	令和5年度
東越谷第一ポンプ場	汚水	補強設計、耐震化工事	1988	23.00 m3/min	平成31年度	令和2年度	令和6年度	令和6年度
間久里ポンプ場	汚水	補強設計、耐震化工事	1993	9.00 m3/min	平成31年度	令和7年度	令和8年度	
出羽堀ポンプ場	雨水	耐震化工事	1991	492.00 m3/min	平成31年度	令和3年度	令和9年度	
越谷第二ポンプ場	汚水	補強設計	1990	12.00 m3/min	平成31年度	令和9年度		
花田ポンプ場	汚水	耐震診断	1988	2.00 m3/min	令和5年度			令和5年度
外野合ポンプ場	雨水	耐震診断	1997	42.00 m3/min	令和5年度			令和5年度

：第2期計画で実施済み ：第3期計画で実施済み ：第4期計画以降で実施

※平成 30 年度から令和 4 年度の進捗状況に関しては、令和 4 年度モニタリング結果に掲載しています。

※東越谷第二ポンプ場の耐震化工事は建築部分の施工が完了しました。土木部分については令和 7 年度に施工予定です。

※花田ポンプ場と外野合ポンプ場の補強設計・耐震化工事は第 4 期計画以降で実施予定です。

ポンプ場施設の進捗状況

- ・令和 5 年度より第 3 期目の実施計画に基づき事業を実施しています。
- ・汚水ポンプ場については、令和 6 年度に東越谷第二ポンプ場の耐震化工事（建築）と、東越谷第一ポンプ場の耐震化工事を行いました。

耐水化計画に基づく事業実施状況（令和 6 年度末時点）

『計画』

計画期間：令和 5 年度～令和 9 年度

処理区・ 排水区の名称	種類	事業内容	設置年度	施設能力	基本設計	詳細設計	工事	施工済
東越谷雨水ポンプ場	雨水	基本設計、詳細設計、工事	2005	143.16 m ³ /min	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
東町ポンプ場	雨水	基本設計	2008	187.80 m ³ /min	令和7年度			
塚田ポンプ場	雨水	基本設計	2000	72.00 m ³ /min	令和7年度			

進捗状況

- ・令和 5 年度より耐水化計画に基づき事業を開始しました。
- ・令和 6 年度の施工実績はありません。

・その他実施事業の状況（浸水対策事業）（令和 6 年度末時点）

- ・雨水幹線については、令和 6 年度は新方川第 17 号雨水幹線の支線を 66.8m整備しました。
- ・新方川流域の浸水対策については、せんげん台駅東口における浸水対策のための貯留施設の事業認可手続きを行いました。また、埼玉県と締結している「一級河川新方川河川改修事業に伴う越谷樋門（第二古川（東武鉄道）ゲート）改築工事に関する協定」の工事が完了し、ポンプゲートが引き渡されました。
- ・元荒川流域の浸水対策については、左敷田ポンプ場の増強に係る工事に着手しました。

財政目標

公営企業の運営は、独立採算制が原則であることと、また、汚水私費、雨水公費が原則であることを踏まえ、財源の確保に努める。

○財政計画についてのモニタリング

◆収益的収支について

(経常損益のみ記載しています)

単位：千円（税抜）

		令和5年度 計画値	令和5年度 決算値	令和6年度 計画値	令和6年度 決算値	令和6年度 計画値 と決算値の差額	令和6・5年度 決算値の差額
収益的 収支	収益的収入	6,696,995	6,350,185	6,666,050	6,326,820	△ 339,230	△ 23,365
	1. 営業収益	4,681,756	4,419,627	4,670,437	4,408,227	△ 262,210	△ 11,400
	うち 料金収入	3,643,618	3,440,953	3,636,878	3,445,080	△ 191,798	4,127
	2. 営業外収益	2,015,239	1,930,559	1,995,613	1,918,593	△ 77,020	△ 11,966
	うち 長期前受金戻入	1,859,981	1,810,459	1,848,964	1,779,913	△ 69,051	△ 30,546
	収益的支出	5,992,774	5,721,385	5,945,961	5,627,782	△ 318,179	△ 93,603
	1. 営業費用	5,526,088	5,356,381	5,527,801	5,277,911	△ 249,890	△ 78,470
	うち 減価償却費	3,371,379	3,264,043	3,377,244	3,238,894	△ 138,350	△ 25,149
	2. 営業外費用	466,686	365,004	418,161	349,871	△ 68,290	△ 15,133
	うち 支払利息	321,882	303,041	273,356	269,232	△ 4,124	△ 33,809
経常損益		704,221	628,800	720,089	699,038	△ 21,051	70,238

※表示単位未満を四捨五入しているため、表の項目と合計値が合わない場合があります。

収益的収支の概要について

収入については、雨水処理負担金や他会計補助金が減少したことなどにより、前年度決算額から約2,300万円減少し、計画値からは約3億3,900万円の減少となりました。料金収入が計画値から減少した要因として、13㎡から40㎡の使用水量が計画値を大きく下回ったことが挙げられます。

支出については、人件費は増加したものの、流域下水道維持管理負担金を始めとした経費や減価償却費などが減少したことにより、前年度決算額から約9,400万円の減少となりました。また、計画値との比較では、人件費と減価償却費、支払利息が計画値を下回ったことから、約3億1,800万円下回りました。

◆資本的収支について

単位：千円（税込）

		令和5年度 計画値	令和5年度 決算値	令和6年度 計画値	令和6年度 決算値	令和6年度 計画値 と決算値の差額	令和6・5年度 決算値の差額
資本的収支	資本的収入（計）	2,276,096	1,854,866	2,104,780	1,877,276	△ 227,504	22,410
	うち 企業債	1,311,600	852,400	1,209,700	850,300	△ 359,400	△ 2,100
	資本的支出（計）	4,443,042	3,840,964	4,362,999	3,828,285	△ 534,714	△ 12,679
	うち 建設改良費	1,268,591	722,310	1,470,724	1,039,730	△ 430,994	317,420
	うち 企業債償還金	3,174,451	3,102,566	2,892,275	2,788,555	△ 103,720	△ 314,011
資本的収入額が資本的支出額に不足する額		2,166,946	1,986,097	2,258,219	1,951,009	△ 307,210	△ 35,088

※表示単位未満を四捨五入しているため、表の項目と合計値が合わない場合があります。

資本的収支の概要について

収入について、企業債が計画値よりも約3億5,900万円減少していますが、事業の見直しや修正に伴い、借入額が減少したことが要因です。

支出については、企業債償還金の割合が高くなっていますが、前年度から約3億1,400万円減少しており、今後も減少傾向にあります。建設改良費に関しては、事業の見直しや修正に伴い、計画値から約4億3,100万円減少しました。また、前年度との比較では、建設改良費において、ポンプ場改良費等の増加により、全体では約3億1,700万円増加しました。

◆繰入金について

単位：千円

		令和5年度 計画値	令和5年度 決算値	令和6年度 計画値	令和6年度 決算値	令和6年度 計画値 と決算値の差額	令和6・5年度 決算値の差額
収益的収支分（計）		1,186,783	1,081,647	1,173,595	1,046,970	△ 126,625	△ 34,677
	うち 基準内繰入金	1,175,783	1,072,567	1,162,595	1,037,538	△ 125,057	△ 35,029
	うち 基準外繰入金	11,000	9,080	11,000	9,432	△ 1,568	352
資本的収支分（計）		701,769	802,353	590,685	722,030	131,345	△ 80,323
	うち 基準内繰入金	695,769	682,099	584,685	518,911	△ 65,774	△ 163,188
	うち 基準外繰入金	6,000	120,254	6,000	203,118	197,118	82,864
合 計		1,888,552	1,884,000	1,764,280	1,769,000	4,720	△ 115,000

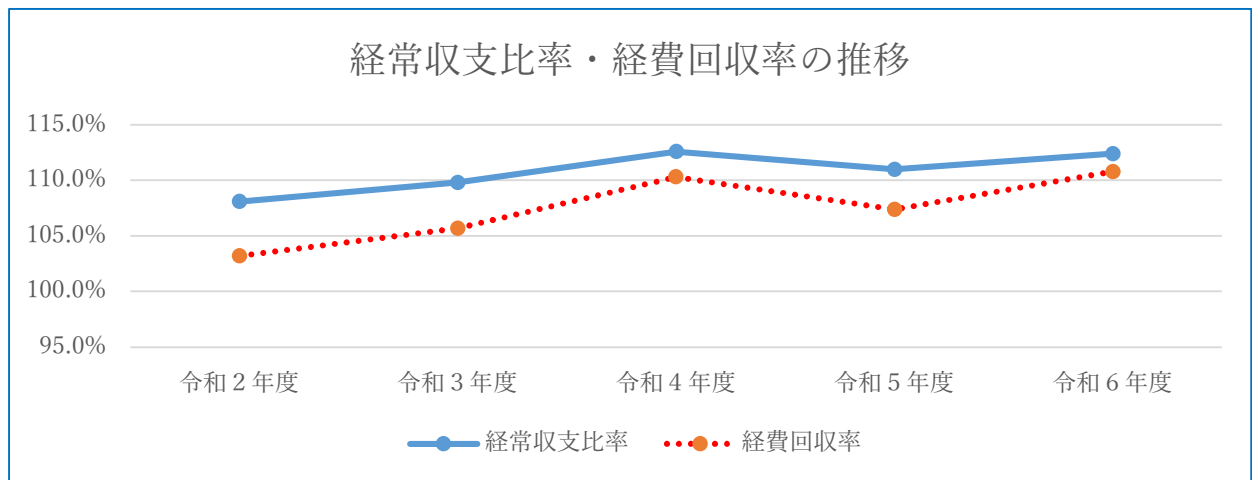
※表示単位未満を四捨五入しているため、表の項目と合計値が合わない場合があります。

繰入金の概要について

計画値との比較では、約500万円増加しました。うち、基準外繰入金については、資本的収支分において、計画値から約1億9,700万円増加しましたが、事業費の見直しや繰入金充当事業の進捗により、収益的収支分の基準内繰入金が増加したため、資本的収支分にて差額を受け入れたことによるものです。なお、前年度との比較では、全体で約1億1,500万円減少しました。

◆経営指標について

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収支比率	108.1%	109.8%	112.6%	111.0%	112.4%
経費回収率	103.2%	105.7%	110.3%	107.4%	110.8%



※経常収支比率：下水道使用料等の経常的収入が、人件費等の経常的支出にどれほど充てられているかを示す指標

※経費回収率：下水道使用料で充足すべき経費をどれほど充足できているかを示す指標

経営指標の概要について

経常収支比率については、主に水洗化人口の増加などに伴う料金収入の増収や流域下水道維持管理負担金を始めとした経費の減少などにより、前年度比 1.4 ポイント増の 112.4%となりました。

経費回収率については、前年度比 3.4 ポイント増の 110.8%となり、100%を超えていることから、下水道使用料により対象経費が十分に賄えています。

○総括

財政計画については、経常収支比率・経費回収率ともに健全経営の水準である 100%を超えていることから、健全な経営が行われていると考えられます。数値の上昇の要因としては、昨年度と比較して雨水処理負担金や他会計補助金が減少したものの、主に料金収入が増収となり、収益的収入全体で大きな減収は見られなかったこと、支出では委託料等の維持管理に係る経費が減少し、支出の減少幅が収入の減少幅を上回ったことが挙げられます。また、今後についても人口減少に伴う下水道使用料の減収等、様々な問題に直面することが予想されます。このため、安定したサービスを継続するためにも、引き続き経営分析に取り組むとともに、分析結果に応じた適切な施策が必要です。

投資計画については、ストックマネジメント計画や、総合地震対策計画などにに基づき施設の改修・修繕を計画的に進めています。本市の管渠の多くは布設から 50 年近くが経過し、今後法定耐用年数を超過する施設が増加します。安定した事業運営を継続するためには、管渠老朽化率の上昇への対応が課題となります。このため、調査・計画に基づく施設の改修や修繕を実施するとともに、費用の平準化を図る必要があります。

なお、埼玉県が管理する中川流域下水道区域内で発生した事故を受け、管渠施設について緊急点検を実施しましたが、異常はありませんでした。

今後についても適切な経営分析を行い、健全な事業運営に取り組んでまいります。